

令和6年度 授業改善推進プラン3年（課題分析と授業改善策）

	課題分析	授業改善策	評価
国語	①書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えて書く力が不足しているため、改善策が必要である。	①感想文や説明文を書いたり読んだりする活動の中で、相手や目的を意識した表現になっているか確かめる時間を設定する。また、よりよい文章表現を児童が互いに見付け合う時間を設定する。	
社会	①資料から必要な情報を読み取る力を伸ばしていく必要がある。	①見学や体験的な学習を積極的に行い、実体験から社会生活を考えさせる。地図帳、資料集等と ICT での資料を併用して、多方面から必要な情報を調べさせる。	
算数	①文章問題を読み取れず立式できない児童が多く、改善策が必要である。 ②前学年までの学習が定着していない児童への支援が必要である	①習熟度に応じて、図や具体物で視覚的に表すなどの支援を行い、問題文の「わかっていること」と「もとめるもの」を明確にすることを徹底する。 ②九九や単位変換などの問題について、アプリ等を活用し、朝学習や宿題等で積極的に取り入れる。	
理科	①考察を書く際に、問題と照らし合わせながら考えを書くことが必要である。	①観察、実験を通して問題の答えを見つけるといふ、意識づけを観察、実験前に行う。 ②考察の書き方をまとめたカードを作成し、児童のノートに張らせる。	
音楽	①基礎的な技能の力は段階的につけているが、周りの音と自分の音を聴き、表現の工夫に繋がるとよい。 ②音楽を形づくっている要素を聴き取ることに慣れていない。	①技能の向上をスモールステップで高めつつ、簡単なリズム遊びや輪唱など相手の音を聴かないと成立しない常時活動をできるだけ取り入れる。 ②音楽の成り立ちを理解できる様々な要素を持つ短い曲を聴かせて言語化する活動を増やす。	
図画工作	①制作に意欲的に取り組もうとするが、十分理解する前に動き始める児童が多くいるので、安全面を含め、改善策が必要である。 ②発想を豊かに形にしようとするので、児童が広げられるような題材の設定が必要である。	①板書、実演、危険の予測の呼びかけを組み合わせ、提示の仕方を工夫する。児童自身が考えたり、振り返ったりする場を設ける。 ①導入に鑑賞を取り入れたり、材料の感触を味わったりすることを通して、思いや発想が広がるきっかけを盛り込む。	
体育	①体の使い方を意識して、粘り強く練習に取り組む力を身に付けさせる必要がある。 ②友達の動きを参考にしたり、友達と高め合ったりする姿勢を浸透させていく必要がある。	①ICT を活用し、動画を見ながら練習できる環境を整えたり、ポイントを意識して振り返ったりすることができるカードを活用する。 ②友達と見合ったり、アドバイスをする練習時間を設定する。	
外国語活動	①英語を聞くことに慣れたり、楽しんで話したりする経験をさらに積み重ねる必要がある。	①ALT や友達とのコミュニケーションを楽しんで取り組めるようにゲーム性のある活動を取り入れる。	
道徳	①教材文の感想になりがちで、自分事として考えることができていない児童が見られる。	①自分事になるように発問の仕方やワークシートの問い方を精選していく。	
総合	①自分に合った課題を設定することが苦手な子が多い。	①自分に合った課題を見付けるために、友達とのかかわりや、体験活動を積極的に取り入れる。	
ICT 端末 の 活用	①自分が知りたいことを調べられるよう、ローマ字入力の練習を繰り返す（社会・総合） ②個別最適な問題を選び学習を進められるように、発展問題などのサイトを活用できるようにする。（算数） ③児童間で意見を伝える機会を「スクールタクト」等で行う経験を積む。		